

謝辞

気象庁版 SHIPS の開発に当たり、米国の SHIPS 開発者から多大なる援助を受けた。特に、米国ハリケーンセンターの Mark DeMaria 氏には簡易版 SHIPS の開発からその後の精度向上に関する取組みまでサポートいただいた。コロラド州立大学 CIRA (Cooperative Institute for Research in the Atmosphere) の Kate Musgrave 氏からは SHIPS コードを提供いただいた。米海軍研究所の Back Sampson 氏には、気象庁版 SHIPS を開発するきっかけを作ってくくださった。また、本研究開発の一部は、JAXA 第 8 回降水観測ミッション (PMM) から研究支援を受けた。

気象研究所における LGEM の開発に当たり、米国ハリケーンセンターの Mark DeMaria 氏からソースコードを提供していただいた。

気象庁版 RI インデックスの開発に当たり、米国の開発者から多大なる援助を受けた。特に、米国ハリケーンセンターの Mark DeMaria 氏、米国北大西洋海洋気象研究所ハリケーン研究部の John Kaplan 氏には様々なサポートをいただいた。

気象庁版 CHIPS の開発に当たり、マサチューセッツ工科大学の Kerry Emanuel 教授の開発したコードを頂き、使用許可を頂いた。また、本研究開発の一部は、科学研究費助成事業・基盤 C (25400461、16K05556) の支援を受けた。特に、琉球大学の伊藤耕介助教、研究協力者であるマイアミ大学研究海外特別研究員の宮本佳明博士にはコードの改良及び検証において多大な協力を頂いた。

コンセンサス予測の開発の一部は、科学研究費助成事業・基盤 C (16K05556) の支援を受けた。最後に、本プロジェクトチーム活動に関係した皆様に感謝申し上げます。特に、プロジェクトチームの立ち上げに尽力いただいた小出直久調査官、プロジェクトの管理者である予報課長、数値予報課長、台風研究部長、実施責任者であるアジア太平洋気象防災センター長、主任予報官、数値予報モデル開発推進官、台風研究部第一・第二研究室長に心より感謝申し上げます。